

また、フットサルチームであるペスカドーラ町田の試合は生中継できるのか？

事業者 現状、生中継は難しい。放送許諾料等の権利クリアが必要になる。

事業者 3月3日に町田市等が主催した「シュライカー大阪 vs ペスカドーラ町田」のパブリックビューイングに協力させてもらった。同様のスキームであれば、お役に立てることがあると思う。

委員 番組を通して、地元のイベントを知ることができてありがたい。

また、学生たちの様々な活動取材してもらっている。J:COMのカメラが入ると、彼等は興奮し、いつも以上の頑張りを見せてくれるので、モチベーションアップのきっかけになっている。さらに、学生と高齢者の交流活動取材してもらった際、高齢者はカメラを向けられると、非常に良い表情をしていた。

是非、小さいネタも含めて、地域情報をもっともっと発信して欲しい。

事業者 J:COM チャンネル(11ch)は、“どローカル”をコンセプトにしており、町田市と川崎市に特化して、地上波局では取り上げないようなエリアネタを掘り下げることにしている。そのため、制作スタッフに加え、地域プロデューサー（地域ステークホルダーとの関係構築を担うJ:COM社員）を配置して地域情報の収集に努めている。

しかし、まだまだ情報量が充分でなく、情報の偏りが見られる場合もある。

加入者は50歳以上の方が多いが、学生、および30歳代から40歳代の方にも見て頂ける番組を制作したいと思っている。スポーツや歴史、教育などの分野における彼等の視聴ニーズについてご意見を頂ければと思う。

◆各世代の興味を意識した地域番組を！

委員 “どローカル”を前提にすると、50歳以上であれば、祭りや餅つき大会等の自治会行事などに関心があると思う。学生の中には地域貢献活動に取り組んでいる人たちがいるので、同年代の学生は興味があるのではないか。

委員 最近は、テレビを持っていない学生が多いので、自分がテレビ番組に出ることになっても、その番組を見ることができない場合がある。

事業者 学生を含めた若い人たちの行動様式を踏まえ、今後、スマートフォンやタブレット端末でテレビ番組を見てもらえるような仕組みを作ることが課題であると認識している。

委員 30歳代から40歳代は、子育て世代に当たるので、その世代を意識した女性向け

番組を検討してみてもどうか。

委員 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、小中学校では東京オリ・パラのスポーツプログラムや文化プログラムといった授業等が展開されると思われる。これらのプログラムを取材し放送すれば、視聴者を増やすことができるのではないか。

事業者 東京オリンピック・パラリンピックを放送できるかどうかは分からないが、同大会への出場を目指す子供たちを今から取材し、番組で紹介できればと考えている。

事業者 皆様からのご意見を番組に反映させ、地域の方々から愛される局を目指したい。本日は、ありがとうございました。

以上